

## 土木工事標準歩掛訂正項目一覧

	該	当	項	目	頁	訂	正	箇	所	訂	正	理	由
標準歩掛	第1章 一般事項	③	重建設機械分解・組立	2. 施工歩掛	11	表2.1	クレーンの規格選定					規格の訂正	
	第2章 土工	②	機械土工（土砂）	4. 機械の施工歩掛	17	4-2	バックホウの作業能力					語句の訂正	
		⑥	人力土工	1. 適用範囲及び施工概要	46	1-2	施工概要（フロー）					語句の訂正	
	第3章 共通工	④	擁壁工	2. 井桁ブロック積工	87	3-3	現場打基礎コンクリート打設工					誤記の訂正	
		⑧	軟弱地盤処理工	1. 袋詰式サンドドレーン工	128	1-5-3	諸雑費					誤記の訂正	
	第4章 基礎工	①	鋼管・既製コンクリート杭打工	3. 鋼管ソイルセメント杭工	208	表3.8	施工スペース幅係数					誤記の訂正	
					210	表3.11	添加材使用係数				語句の訂正		
		②	場所打杭工	1. オルケーシング工・全回転式オルケーシング工	213	1-3-2	掘削機の規格					誤記の訂正	
					215	1-5-5	杭頭処理				誤記の訂正		
					229	4-6	杭1本当りモルタル及びコンクリート使用量				誤記の訂正		
		⑤	ダウンザホールハンマ工	5. 施工歩掛	235	表5.2	機種を選定（B工法）					語句の訂正	
					③	深礎工	5. 施工歩掛	246	5-2	坑内足場工			
			6. 単価表	248	(1)			深礎杭1本当り内訳書				誤記の訂正	
	④	オープンケーソン工	5. 施工歩掛	251	表5.1	刃口金物据付歩掛					誤記の訂正		
	⑥	鋼管矢板基礎工	3. 機種を選定	269	表3.1	機種を選定					語句の訂正		
	第5章 コンクリート工	①	コンクリート工	13. 単価表	289	(9)	機械運転単価表、(10)ジェットヒータ運転1時間当り単価表					誤記の訂正	
	第6章 仮設工	⑦	締切排水工	3. 施工歩掛	327	3-2	運転工歩掛					誤記の訂正	
第7章 河川海岸	③	消波工	4. ブロック製作・据付工	370	表4.5	型枠の組立・脱型及び型枠清掃、はく離剤塗布歩掛					誤記の訂正		

## 土木工事標準歩掛訂正項目一覧

	該	当	項	目	頁	訂	正	箇	所	訂	正	理	由
		④	浚渫工	1. ポンプ式浚渫船	379	1-4-5	繫船費					誤記の訂正	
第12章	道路付属設備	⑧	トンネル内装板設置工	2. 施工概要	558		施工フロー					誤記の訂正	
第13章	道路維持修繕	⑩	道路除雪工	2. 工種区分	670	2-2	工種区分					誤記の訂正	
第14章	共同溝	③	情報ボックス工	11. 単価表	720	(7)	ハンドホール工10個当り単価表					誤記の訂正	
第15章	トンネル工	①-2	トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]	4. 施工歩掛	787 788	4-5	覆土工					誤記の訂正	
				5. 単価表	800	(28)	機械運転単価表				誤記の訂正		
		②	小断面トンネル工 (NATM)	4. 施工歩掛	819	4-3-3	支保工					誤記の訂正	
		③	トンネル濁水処理工	3. 施工歩掛	837	3-4	泥土運搬					誤記の訂正	
第16章	橋梁	①	橋台・橋脚工	2. 施工概要	839		施工フロー					誤記の訂正	
		②	鋼橋架設工	1. 鋼橋架設工	864	1-15	グレーチング床版架設工及び足場工					誤記の訂正	
					869	(17)	床版架設100m2当り単価表				誤記の訂正		
		⑤	プレキャストセグメント主桁組立工	3. 機種の選定	885	3.	機種の選定					誤記の訂正	
		⑩	PC橋片持架設工	7. 片持架設工	927	表7.1	作業車据付・解体歩掛					語句の訂正	
⑬	歩道橋 (側道橋) 架設工	6. 単価表	960	(11)	機械運転単価表					誤記の訂正			

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																
P11	<p>2. 施工歩掛 2-1 使用機械の規格選定 分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 クレーンの規格選定</p> <table border="1" data-bbox="215 327 1088 1157"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 区 分</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">分 解 組 立 用 ク レ ー ン</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>25 t 吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">クローラクレーン系</td> <td>35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m<sup>3</sup>含む)</td> <td rowspan="4">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td rowspan="2">25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m<sup>3</sup>以下含む)</td> </tr> <tr> <td>150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m<sup>3</sup>以下含む)</td> <td rowspan="2">50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>300 t 吊以下</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン系</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>50 t 吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">クローラ式杭打機</td> <td>質量 60 t 以下</td> <td rowspan="3">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td rowspan="3">25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>質量 100 t 以下</td> </tr> <tr> <td>質量 150 t 以下</td> </tr> <tr> <td>オールケーシング掘削機 (掘置式)</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型</td> <td>50～55 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	機 械 区 分	規 格	分 解 組 立 用 ク レ ー ン		名 称	規 格	ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	クローラクレーン系	35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m <sup>3</sup> 含む)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m <sup>3</sup> 以下含む)	150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m <sup>3</sup> 以下含む)	50 t 吊	300 t 吊以下	トラッククレーン系	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	50 t 吊	クローラ式杭打機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	質量 100 t 以下	質量 150 t 以下	オールケーシング掘削機 (掘置式)	表 1.1 参照	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型	50～55 t 吊	<p>2. 施工歩掛 2-1 使用機械の規格選定 分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 クレーンの規格選定</p> <table border="1" data-bbox="1115 327 1989 1157"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 区 分</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="2">分 解 組 立 用 ク レ ー ン</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>25 t 吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">クローラクレーン系</td> <td>35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m<sup>3</sup>含む)</td> <td rowspan="4">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td rowspan="2">25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m<sup>3</sup>以下含む)</td> </tr> <tr> <td>150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m<sup>3</sup>以下含む)</td> <td rowspan="2">50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>300 t 吊以下</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン系</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>50 t 吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">クローラ式杭打機</td> <td>質量 60 t 以下</td> <td rowspan="3">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td rowspan="3">25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>質量 100 t 以下</td> </tr> <tr> <td>質量 150 t 以下</td> </tr> <tr> <td>オールケーシング掘削機 (掘置式)</td> <td>表 1.1 参照</td> <td>クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型</td> <td><del>50～55 t 吊</del> <b>60～65 t 吊</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	機 械 区 分	規 格	分 解 組 立 用 ク レ ー ン		名 称	規 格	ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	クローラクレーン系	35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m <sup>3</sup> 含む)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m <sup>3</sup> 以下含む)	150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m <sup>3</sup> 以下含む)	50 t 吊	300 t 吊以下	トラッククレーン系	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	50 t 吊	クローラ式杭打機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊	質量 100 t 以下	質量 150 t 以下	オールケーシング掘削機 (掘置式)	表 1.1 参照	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型	<del>50～55 t 吊</del> <b>60～65 t 吊</b>	
機 械 区 分	規 格			分 解 組 立 用 ク レ ー ン																																																															
		名 称	規 格																																																																
ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
クローラクレーン系	35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m <sup>3</sup> 含む)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
	80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m <sup>3</sup> 以下含む)																																																																		
	150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m <sup>3</sup> 以下含む)		50 t 吊																																																																
	300 t 吊以下																																																																		
トラッククレーン系	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	50 t 吊																																																																
クローラ式杭打機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
	質量 100 t 以下																																																																		
	質量 150 t 以下																																																																		
オールケーシング掘削機 (掘置式)	表 1.1 参照	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型	50～55 t 吊																																																																
機 械 区 分	規 格	分 解 組 立 用 ク レ ー ン																																																																	
		名 称	規 格																																																																
ブルドーザ バックホウ系 オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕 地盤改良機械 トンネル用機械	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
クローラクレーン系	35 t 吊以下 (クラムシエル平積 0.6m <sup>3</sup> 含む)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
	80 t 吊以下 (クラムシエル平積 2.0m <sup>3</sup> 以下含む)																																																																		
	150 t 吊以下 (クラムシエル平積 3.0m <sup>3</sup> 以下含む)		50 t 吊																																																																
	300 t 吊以下																																																																		
トラッククレーン系	表 1.1 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	50 t 吊																																																																
クローラ式杭打機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	25 t 吊																																																																
	質量 100 t 以下																																																																		
	質量 150 t 以下																																																																		
オールケーシング掘削機 (掘置式)	表 1.1 参照	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型	<del>50～55 t 吊</del> <b>60～65 t 吊</b>																																																																

# 土木工事標準歩掛の訂正

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																
P17	<p>(2) 床掘り（作業土工）補助労務                      構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び覆起し・切梁・火打梁等により機械掘削できない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</p>	<p>(2) 床掘り（作業土工）補助労務                      構造物等（共同溝を除く）の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）及び覆起し・切梁・火打梁等により機械掘削<del>出来ない</del>箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通作業員を計上する。</p>																	
P46	<p>1-2 施工概要（フロー）</p> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>1-2 施工概要（フロー）</p> <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>																	
P87	<p>(3) 圧送管組立・撤去歩掛                      圧送管組立・撤去歩掛歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 圧送管組立・撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>組 立 労 務</th> <th>撤 去 労 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務	普通作業員	人	0.26	0.20	<p>(3) 圧送管組立・撤去歩掛                      圧送管組立・撤去歩掛<del>歩掛</del>は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 圧送管組立・撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>組 立 労 務</th> <th>撤 去 労 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務	普通作業員	人	0.26	0.20	文字削除
名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務																
普通作業員	人	0.26	0.20																
名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務																
普通作業員	人	0.26	0.20																
P128	<p>1-5-3 諸 雑 費                      諸雑費は、杭の砂及び袋の割増分の費用及び溶接に関する費用であり、労務費、材料費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	諸 雑 費 率	10	<p>1-5-3 諸 雑 費                      諸雑費は、杭の砂及び袋の割増分の費用及び溶接に関する費用であり、労務費、材料費、<del>機械</del>賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	諸 雑 費 率	10	文字削除												
諸 雑 費 率	10																		
諸 雑 費 率	10																		
P208	<p style="text-align: center;">表 3.8 施工スペース幅係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工スペース幅</th> <th>施工スペース係数(β)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25m ≤ Le</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>25m &gt; Le</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭頭部固化体撤去にて、撤去された固化体の処理費は、別途計上する。</p>	施工スペース幅	施工スペース係数(β)	25m ≤ Le	1.0	25m > Le	1.1	<p style="text-align: center;">表 3.8 施工スペース幅係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工スペース幅</th> <th>施工スペース係数(β)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25m ≤ <del>W</del></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>25m &gt; <del>W</del></td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭頭部固化体撤去にて、撤去された固化体の処理費は、別途計上する。</p>	施工スペース幅	施工スペース係数(β)	25m ≤ <del>W</del>	1.0	25m > <del>W</del>	1.1					
施工スペース幅	施工スペース係数(β)																		
25m ≤ Le	1.0																		
25m > Le	1.1																		
施工スペース幅	施工スペース係数(β)																		
25m ≤ <del>W</del>	1.0																		
25m > <del>W</del>	1.1																		

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																														
P210	<p style="text-align: center;">表 3.11 添加材使用係数 (K<sub>2</sub>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘進長 (m)</td> <td style="width: 15%;">0～15m未満</td> <td style="width: 15%;">15～30m未満</td> <td style="width: 15%;">30～45m未満</td> <td style="width: 15%;">45～50m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td>0</td> <td>0.015</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長とは、図3-2のL<sub>1</sub>+L<sub>2</sub>+L<sub>3</sub>とする。</p>	掘進長 (m)	0～15m未満	15～30m未満	30～45m未満	45～50m以下	添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04	<p style="text-align: center;">表 3.11 添加材使用係数 (K<sub>2</sub>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">掘進長 (L<sub>2</sub>)</td> <td style="width: 15%;">0～15m未満</td> <td style="width: 15%;">15～30m未満</td> <td style="width: 15%;">30～45m未満</td> <td style="width: 15%;">45～50m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td>0</td> <td>0.015</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長 (L<sub>2</sub>) とは、図3-2のL<sub>1</sub>+L<sub>2</sub>+L<sub>3</sub>とする。</p>	掘進長 (L <sub>2</sub> )	0～15m未満	15～30m未満	30～45m未満	45～50m以下	添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04											
掘進長 (m)	0～15m未満	15～30m未満	30～45m未満	45～50m以下																													
添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04																													
掘進長 (L <sub>2</sub> )	0～15m未満	15～30m未満	30～45m未満	45～50m以下																													
添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04																													
P213	<p>1-3-2 掘削機の規格 掘削機の規格は、杭径及び掘削長により次図を標準とする。また、現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①振動式オールケーシング掘削機</p> <p>図1-1 掘削機別選定</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②全回転式オールケーシング掘削機</p> <p>図1-2 掘削機別選定</p> </div> </div>	<p>1-3-2 掘削機の規格 掘削機の規格は、杭径及び掘削長により次図を標準とする。また、現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①振動式オールケーシング掘削機</p> <p>図1-1 掘削機別選定</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②全回転式オールケーシング掘削機</p> <p>図1-2 掘削機別選定</p> </div> </div>																															
P215	<p>1-5-5 杭頭処理 杭1本当り杭頭処理歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 杭頭処理歩掛 (1本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排出ガス対策型)コンクリートブレーカ損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 殺処分費が必要な場合は別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.2	特 殊 作 業 員	〃	0.4	普 通 作 業 員	〃	0.2	諸 雑 費 率	%	20	<p>1-5-5 杭頭処理 杭1本当り杭頭処理歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 杭頭処理歩掛 (1本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排出ガス対策型)コンクリートブレーカ損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 殺処分費が必要な場合は別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.2	特 殊 作 業 員	〃	0.4	普 通 作 業 員	〃	0.2	諸 雑 費 率	%	20	
名 称	単 位	数 量																															
世 話 役	人	0.2																															
特 殊 作 業 員	〃	0.4																															
普 通 作 業 員	〃	0.2																															
諸 雑 費 率	%	20																															
名 称	単 位	数 量																															
世 話 役	人	0.2																															
特 殊 作 業 員	〃	0.4																															
普 通 作 業 員	〃	0.2																															
諸 雑 費 率	%	20																															

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																												
P229	<p>表4.11 モルタルロス率（鋼管の場合）（K<sub>2</sub>）</p> <table border="1" data-bbox="271 252 1030 336"> <tr> <td>設計杭径（mm）</td> <td>190～250</td> <td>251～425</td> <td>426～510</td> </tr> <tr> <td>K<sub>2</sub></td> <td>+0.6</td> <td>+0.5</td> <td>+0.2</td> </tr> </table> <p>（注） 補正係数には、地山との空隙充填分のモルタルを含む。</p>	設計杭径（mm）	190～250	251～425	426～510	K <sub>2</sub>	+0.6	+0.5	+0.2	<p>表4.11 モルタルロス率（鋼管の場合）（K<sub>2</sub>）</p> <table border="1" data-bbox="1171 252 1930 336"> <tr> <td>設計杭径（mm）</td> <td>190～250</td> <td>251～425</td> <td>426～510</td> </tr> <tr> <td>K<sub>2</sub></td> <td>+0.6</td> <td>+0.5</td> <td>+0.2</td> </tr> </table> <p>（注） <b>ロス率</b>には、地山との空隙充填分のモルタルを含む。</p>	設計杭径（mm）	190～250	251～425	426～510	K <sub>2</sub>	+0.6	+0.5	+0.2																																													
設計杭径（mm）	190～250	251～425	426～510																																																												
K <sub>2</sub>	+0.6	+0.5	+0.2																																																												
設計杭径（mm）	190～250	251～425	426～510																																																												
K <sub>2</sub>	+0.6	+0.5	+0.2																																																												
P235	<p>表5.2 機種を選定（B工法）</p> <table border="1" data-bbox="215 494 1086 774"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図5-3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて 計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 鋼管杭、H形鋼杭の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。</p> <p>2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。</p> <p>①工事場所により10m以内のところに材料置場を設けることが出来ない場合。</p> <p>②民家、構造物、その他の施設等を破損または危険にさらす恐れのある場合。</p> <p>③現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。</p> <p>3. 作業は、補助クレーンの場合、準備作業までとする。</p> <p>4. 空気圧縮機は賃料とする。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要		大口径ボーリングマシン		台	1	図5-3		ダウンザホールハンマ		〃	1	表5.4		空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5	資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1	必要に応じて 計上	<p>表5.2 機種を選定（B工法）</p> <table border="1" data-bbox="1115 494 1986 774"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>大口径ボーリングマシン</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図5-3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダウンザホールハンマ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて 計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 鋼管杭、H形鋼杭の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。</p> <p>2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。</p> <p>①工事場所により10m以内のところに材料置場を設けることが出来ない場合。</p> <p>②民家、構造物、その他の施設等を破損または危険にさらす恐れのある場合。</p> <p>③現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。</p> <p>3. 作業は、補助クレーンの場合、準備作業までとする。</p> <p>4. 空気圧縮機、<b>ラフテレーンクレーン</b>は賃料とする。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要		大口径ボーリングマシン		台	1	図5-3		ダウンザホールハンマ		〃	1	表5.4		空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5	資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1	必要に応じて 計上	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
	大口径ボーリングマシン		台	1	図5-3																																																										
	ダウンザホールハンマ		〃	1	表5.4																																																										
	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5																																																										
資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1	必要に応じて 計上																																																										
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
	大口径ボーリングマシン		台	1	図5-3																																																										
	ダウンザホールハンマ		〃	1	表5.4																																																										
	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5																																																										
資材等小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込み	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 （第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1	必要に応じて 計上																																																										
P246	<p>5-2 坑内足場工</p> <p>(1) 足場の種類及び数量</p> <p>足場の種類は、枠組足場を標準とする。</p> <p>掛面積は、次式による。</p> <p>掛面積（m<sup>2</sup>）＝掘削1m当り掛面積（m<sup>2</sup>）×掘削深（m）</p>	<p>5-2 <b>杭</b>内足場工</p> <p>(1) 足場の種類及び数量</p> <p>足場の種類は、枠組足場を標準とする。</p> <p>掛面積は、次式による。</p> <p>掛面積（m<sup>2</sup>）＝掘削1m当り掛面積（m<sup>2</sup>）×掘削深（m）</p>																																																													

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																										
P248	<p><b>6. 単 価 表</b> (1) 深礎杭1本当り内訳書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 土 留</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>単価表(2)</td> </tr> <tr> <td>掘削作業設備組立解体工</td> <td>簡易やぐら</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>※C工法のみ計上・単価表(3)</td> </tr> <tr> <td>坑 内 足 場 工</td> <td>枠組足場</td> <td>掛m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 工</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グ ラ ウ ト 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>土 留 材</td> <td>ライナープレート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 土 留		本		単価表(2)	掘削作業設備組立解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上・単価表(3)	坑 内 足 場 工	枠組足場	掛m <sup>2</sup>			鉄 筋 工		t			コ ン ク リ ー ト 工		m <sup>3</sup>			グ ラ ウ ト 工		〃		単価表(4)	土 留 材	ライナープレート	m			計					<p><b>6. 単 価 表</b> (1) 深礎杭1本当り内訳書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 土 留</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>単価表(2)</td> </tr> <tr> <td>掘削作業設備組立解体工</td> <td>簡易やぐら</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>※C工法のみ計上・単価表(3)</td> </tr> <tr> <td><b>杭</b> 内 足 場 工</td> <td>枠組足場</td> <td>掛m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 工</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グ ラ ウ ト 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>土 留 材</td> <td>ライナープレート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 土 留		本		単価表(2)	掘削作業設備組立解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上・単価表(3)	<b>杭</b> 内 足 場 工	枠組足場	掛m <sup>2</sup>			鉄 筋 工		t			コ ン ク リ ー ト 工		m <sup>3</sup>			グ ラ ウ ト 工		〃		単価表(4)	土 留 材	ライナープレート	m			計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
掘 削 土 留		本		単価表(2)																																																																																									
掘削作業設備組立解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上・単価表(3)																																																																																									
坑 内 足 場 工	枠組足場	掛m <sup>2</sup>																																																																																											
鉄 筋 工		t																																																																																											
コ ン ク リ ー ト 工		m <sup>3</sup>																																																																																											
グ ラ ウ ト 工		〃		単価表(4)																																																																																									
土 留 材	ライナープレート	m																																																																																											
計																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
掘 削 土 留		本		単価表(2)																																																																																									
掘削作業設備組立解体工	簡易やぐら	式	1	※C工法のみ計上・単価表(3)																																																																																									
<b>杭</b> 内 足 場 工	枠組足場	掛m <sup>2</sup>																																																																																											
鉄 筋 工		t																																																																																											
コ ン ク リ ー ト 工		m <sup>3</sup>																																																																																											
グ ラ ウ ト 工		〃		単価表(4)																																																																																									
土 留 材	ライナープレート	m																																																																																											
計																																																																																													
P251	<p style="text-align: center;"><b>表5.1 刃口金物据付歩掛</b> (1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3×T<sub>1</sub></td> <td rowspan="3">T<sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4×T<sub>1</sub></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8×T<sub>1</sub></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型20 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. トラッククレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電気溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接棒等の費用であり、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.3×T <sub>1</sub>	T <sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)	溶 接 工		〃	1.4×T <sub>1</sub>	普 通 作 業 員		〃	0.8×T <sub>1</sub>	トラッククレーン運 転	油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	1.2		諸 雑 費 率		%	6		<p style="text-align: center;"><b>表5.1 刃口金物据付歩掛</b> (1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3×T<sub>1</sub></td> <td rowspan="3">T<sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4×T<sub>1</sub></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8×T<sub>1</sub></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型20 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. トラッククレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電気溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接棒等の費用であり、労務費及び<del>機械</del>賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.3×T <sub>1</sub>	T <sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)	溶 接 工		〃	1.4×T <sub>1</sub>	普 通 作 業 員		〃	0.8×T <sub>1</sub>	トラッククレーン運 転	油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	1.2		諸 雑 費 率		%	6		<p>文字削除</p>																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
世 話 役		人	0.3×T <sub>1</sub>	T <sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)																																																																																									
溶 接 工		〃	1.4×T <sub>1</sub>																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.8×T <sub>1</sub>																																																																																										
トラッククレーン運 転	油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	1.2																																																																																										
諸 雑 費 率		%	6																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																									
世 話 役		人	0.3×T <sub>1</sub>	T <sub>1</sub> : 1基当り刃口金物質量 (t)																																																																																									
溶 接 工		〃	1.4×T <sub>1</sub>																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.8×T <sub>1</sub>																																																																																										
トラッククレーン運 転	油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	1.2																																																																																										
諸 雑 費 率		%	6																																																																																										

土木工事標準歩掛の訂正

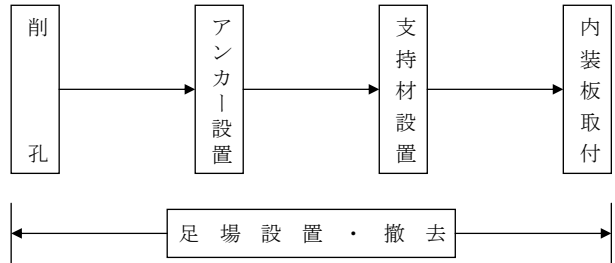
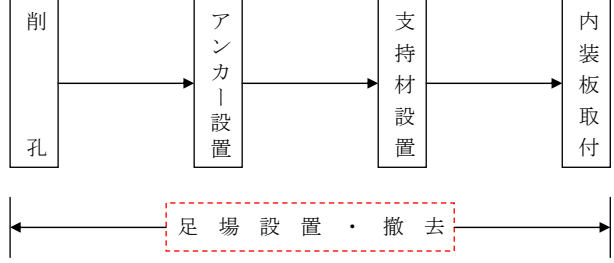
現行基準 のページ	現 行					改 正					摘 要
P269	表3.1 機種 の 選定					表3.1 機種 の 選定					
	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	
	クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直/斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1		クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式、又は直/斜杭打ち兼用油圧ハンマ・直結三点支持式	台	1		
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t吊	"	1		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t吊	"	1		
	ハンマクラブ		個	1		ハンマクラブ		個	1		
	クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m <sup>3</sup>	台	1		クラムシエル	油圧ロープ式 クローラ型平積0.8m <sup>3</sup>	台	1		
	コンクリートポンプ	ブーム式90～110m <sup>3</sup> /h	"	1		コンクリートポンプ	ブーム式90～110m <sup>3</sup> /h	"	1		
	杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型 ポンプ圧力14.7MP <sub>a</sub> (150kg/cm <sup>2</sup> )	"	1		杭 打 用 ウォータージェット	エンジン式 排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14.7MP <sub>a</sub> (150kg/cm <sup>2</sup> )	"	1		
	鉄筋スタッド施工機 械	2,000A	組	1	スタッド溶植機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。	鉄筋スタッド施工機 械	2,000A	組	1	スタッド溶植機・4連ガン・制御装置・昇降フレーム・電動空気圧縮機・自走式リフト(2台)を含む。	
	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1		発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 250kVA	台	1		
	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t吊	"	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ 4.9 t吊	"	1		
	水 中 切 断 機		"	1		水 中 切 断 機		"	1		
	バイプロハンマ	60kW	"	1		バイプロハンマ	60kW	"	1		
	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	"	1		発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 60kVA	"	1		
	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	"	1		発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 300kVA	"	1		
	(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 発動発電機、トラッククレーンは賃料とする。					(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 発動発電機、トラッククレーンは賃料とする。					



土木工事標準歩掛の訂正

現行基準のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																												
P289	<p>(9) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリートポンプ車</td> <td rowspan="2">ブーム式90~110m<sup>3</sup>/h</td> <td rowspan="2">機-3</td> <td>機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m<sup>3</sup>/h) 運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊</td> <td>機-27</td> <td>燃料消費量→74</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。</p> <p>(10) ジェットヒータ運転1時間当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td>灯油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表9.4</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ賃料</td> <td>126MJ (30, 100kcal)</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→賃料×1/表9.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h) 運転労務数量→0.14	機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	機-27	燃料消費量→74	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費	灯油	ℓ		表9.4	ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料×1/表9.4	諸 雑 費		式	1		計					<p>(9) ジェットヒータ運転1時間当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td>灯油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表9.4</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ賃料</td> <td>126MJ (30, 100kcal)</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→賃料×1/表9.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリートポンプ車</td> <td rowspan="2">ブーム式90~110m<sup>3</sup>/h</td> <td rowspan="2">機-3</td> <td>機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m<sup>3</sup>/h) 運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊</td> <td>機-27</td> <td>燃料消費量→74</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費	灯油	ℓ		表9.4	ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料×1/表9.4	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h) 運転労務数量→0.14	機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	機-27	燃料消費量→74	掲載順入替
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																												
コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h) 運転労務数量→0.14																																																																												
			機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																																																																												
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	機-27	燃料消費量→74																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																											
燃 料 費	灯油	ℓ		表9.4																																																																											
ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料×1/表9.4																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																												
計																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																											
燃 料 費	灯油	ℓ		表9.4																																																																											
ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料×1/表9.4																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																												
計																																																																															
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																												
コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m <sup>3</sup> /h) 運転労務数量→0.14																																																																												
			機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																																																																												
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	機-27	燃料消費量→74																																																																												
P327	<p>(3) 諸雑費 諸雑費は、ポンプの配管材料の損料等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	<p>(3) 諸雑費 諸雑費は、ポンプの配管材料の損料等の費用であり、労務費、<del>機械</del>賃料及び運転経費の合計に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	文字削除																																																																												
P370	<p>表 4.5 型枠の組立・脱型及び型枠清掃、はく離剤塗布歩掛 (100m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">ブロック実質量</th> </tr> <tr> <th>11.0 tを超え 25.0 t以下</th> <th>25.0 tを超え 50.0 t以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼製及びFRP製型枠使用を標準とし、木製型枠使用の場合は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	ブロック実質量		11.0 tを超え 25.0 t以下	25.0 tを超え 50.0 t以下	世 話 役		人	0.3	0.2	特殊作業員		〃	0.5	0.5	普通作業員		〃	1.5	1.4	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	0.4	<p>表 4.5 型枠の組立・脱型及び型枠清掃、はく離剤塗布歩掛 (100m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">ブロック実質量</th> </tr> <tr> <th>11.0 tを超え 25.0 t以下</th> <th>25.0 tを超え 50.0 t以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼製及びFRP製型枠使用を標準とし、木製型枠使用の場合は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	ブロック実質量		11.0 tを超え 25.0 t以下	25.0 tを超え 50.0 t以下	世 話 役		人	0.3	0.2	特殊作業員		〃	0.5	0.5	普通作業員		〃	1.5	1.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	0.4																							
名 称	規 格				単 位	ブロック実質量																																																																									
		11.0 tを超え 25.0 t以下	25.0 tを超え 50.0 t以下																																																																												
世 話 役		人	0.3	0.2																																																																											
特殊作業員		〃	0.5	0.5																																																																											
普通作業員		〃	1.5	1.4																																																																											
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	0.4																																																																											
名 称	規 格	単 位	ブロック実質量																																																																												
			11.0 tを超え 25.0 t以下	25.0 tを超え 50.0 t以下																																																																											
世 話 役		人	0.3	0.2																																																																											
特殊作業員		〃	0.5	0.5																																																																											
普通作業員		〃	1.5	1.5																																																																											
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.4	0.4																																																																											

# 土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要
P379	<p>1-4-5 繋船費</p> <p>繋船費は、共通仮設費積算基準における準備費で、下記により別途計上する。</p> <p>浚渫船の休転中における乗務員の労務費であって、1-4-2(3)に定められた休転日(A)のほか、運転準備期間7日と浚渫完了後の後片付け期間5日を対象とするが、汚濁防止フェンス設置・撤去がある場合には、運転準備期間に3日と後片付け期間に3日を加算する。ただし、1-4-2(3)に定められた休転日(B)については、対象としない。繋船費の対象とする乗務員の員数は、表1.3を標準とする。</p> <p>運転準備期間とは、浚渫箇所浚渫船を配置し、点検を行い、水上管（フロータ付）を設置し、運転状態に入るまでの準備作業に要する期間をいう。</p> <p>浚渫完了後の後片付け期間とは、計画全土量の浚渫を完了し、浚渫船及び水上管を安全地帯にえい航繋留し、整備修理を完了するまでの後片付け作業に要する期間とする。</p>	<p>1-4-5 繋船費</p> <p>繋船費は、共通仮設費積算基準における準備費で、下記により別途計上する。</p> <p>浚渫船の休転中における乗務員の労務費であって、1-4-2(3)に定められた休転日(A)のほか、運転準備期間7日と浚渫完了後の後片付け期間5日を対象とするが、汚濁防止フェンス設置・撤去がある場合には、運転準備期間に3日と後片付け期間に3日を加算する。ただし、1-4-2(3)に定められた休転日(B)については、対象としない。繋船費の対象とする乗務員の員数は、<b>表1.4</b>を標準とする。</p> <p>運転準備期間とは、浚渫箇所浚渫船を配置し、点検を行い、水上管（フロータ付）を設置し、運転状態に入るまでの準備作業に要する期間をいう。</p> <p>浚渫完了後の後片付け期間とは、計画全土量の浚渫を完了し、浚渫船及び水上管を安全地帯にえい航繋留し、整備修理を完了するまでの後片付け作業に要する期間とする。</p>	
P558	<p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <pre> graph LR     A[削孔] --&gt; B[アンカー設置]     B --&gt; C[支持材設置]     C --&gt; D[内装板取付]     E[足場設置・撤去]     </pre>	<p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <pre> graph LR     A[削孔] --&gt; B[アンカー設置]     B --&gt; C[支持材設置]     C --&gt; D[内装板取付]     E[足場設置・撤去]     style E stroke-dasharray: 5 5     </pre>	
P670	<p>2-2 工種区分</p> <p>(1) 一般除雪 新雪除雪</p> <p>新雪を除雪車により路側へ排除する作業をいい、除雪の対象となる雪は、車両などにより圧縮されたり乱されたりする度も少なく、また結晶同志の結びつきも小さく、比較的高速作業をなし得る状態にある場合をいう。</p>	<p>2-2 工種区分</p> <p>(1) 一般除雪 新雪除雪</p> <p>新雪を除雪車により路側へ排除する作業をいい、除雪の対象となる雪は、車両などにより圧縮されたり乱されたりする度も少なく、また結晶<b>同士</b>の結びつきも小さく、比較的高速作業をなし得る状態にある場合をいう。</p>	

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																														
P720	<p>(7) ハンドホール工 10 個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="219 256 1084 750"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td><math>\text{O} \times 100 / D_7</math></td> <td>表10.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><math>\text{O} \times 100 / D_7</math></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><math>\text{O} \times 100 / D_7</math></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ハ ン ド ホ ー ル</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋</td> <td></td> <td>枚</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固 定 板</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>支 持 金 具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン 装置付)運転</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>日</td> <td><math>\text{O} \times 100 / D_7</math></td> <td>表3.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <math>D_7</math>: 日当り施工量 (個/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\text{O} \times 100 / D_7$	表10.1, 表10.2	特 殊 作 業 員		〃	$\text{O} \times 100 / D_7$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\text{O} \times 100 / D_7$	〃	ハ ン ド ホ ー ル		個	10		蓋		枚	10		固 定 板		〃		必要量計上	支 持 金 具		個		〃	トラック(クレーン 装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	$\text{O} \times 100 / D_7$	表3.1, 表10.2	諸 雑 費		式	1		計					<p>(7) ハンドホール工 10 個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1115 256 1980 750"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td><math>\text{O} \times \underline{10} / D_7</math></td> <td>表10.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><math>\text{O} \times \underline{10} / D_7</math></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><math>\text{O} \times \underline{10} / D_7</math></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ハ ン ド ホ ー ル</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋</td> <td></td> <td>枚</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固 定 板</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>支 持 金 具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン 装置付)運転</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>日</td> <td><math>\text{O} \times \underline{10} / D_7</math></td> <td>表3.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) <math>D_7</math>: 日当り施工量 (個/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	表10.1, 表10.2	特 殊 作 業 員		〃	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	〃	ハ ン ド ホ ー ル		個	10		蓋		枚	10		固 定 板		〃		必要量計上	支 持 金 具		個		〃	トラック(クレーン 装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	表3.1, 表10.2	諸 雑 費		式	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	$\text{O} \times 100 / D_7$	表10.1, 表10.2																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\text{O} \times 100 / D_7$	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	$\text{O} \times 100 / D_7$	〃																																																																																																													
ハ ン ド ホ ー ル		個	10																																																																																																														
蓋		枚	10																																																																																																														
固 定 板		〃		必要量計上																																																																																																													
支 持 金 具		個		〃																																																																																																													
トラック(クレーン 装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	$\text{O} \times 100 / D_7$	表3.1, 表10.2																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																														
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
世 話 役		人	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	表10.1, 表10.2																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	〃																																																																																																													
ハ ン ド ホ ー ル		個	10																																																																																																														
蓋		枚	10																																																																																																														
固 定 板		〃		必要量計上																																																																																																													
支 持 金 具		個		〃																																																																																																													
トラック(クレーン 装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	$\text{O} \times \underline{10} / D_7$	表3.1, 表10.2																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																														
計																																																																																																																	
P787	(2) 材料等歩掛	<u>(3)</u> 材料等歩掛																																																																																																															
P788	(3) 型枠工歩掛 (中略) (4) 覆工コンクリート打設歩掛	<u>(4)</u> 型枠工歩掛 (中略) <u>(5)</u> 覆工コンクリート打設歩掛																																																																																																															

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行				改 正				摘 要
P800	(28) 機械運転単価表				(28) 機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適用単価 表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価 表	指 定 事 項	
	自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-24	燃料消費量 →617 機械損料数量→ 1.40	自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-24	燃料消費量 →617 機械損料数量→ 1.40	
	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフタ質量150kg級	機-25	燃料消費量 →201 機械損料数量→ 1.40	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフタ質量150kg級	機-25	燃料消費量 →201 機械損料数量→ 1.40	
	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m <sup>3</sup> 級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量→ 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m <sup>3</sup> 級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量→ 1.40	
	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m <sup>3</sup>	機-24	燃料消費量 → 67 機械損料数量→ 1.40	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m <sup>3</sup>	機-24	燃料消費量 → <b>68</b> 機械損料数量→ 1.40	
	バックホウ	トンネル工用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量→ 1.40	バックホウ	トンネル工用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量→ 1.40	
	吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m <sup>3</sup> /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量→ 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m <sup>3</sup> /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量→ 1.40	
	大型ブレーカ	トンネル工用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40	大型ブレーカ	トンネル工用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40	
	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積	機-32	燃料消費量 →121 機械損料数量→ 1.40 タイヤの損耗費も計上	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積	機-32	燃料消費量 →121 機械損料数量→ 1.40 タイヤの損耗費も計上	
	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m <sup>3</sup> /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量→ 1.40	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m <sup>3</sup> /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量→ 1.40	
	集 塵 機	定格風量○○○m <sup>3</sup> /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する 機械損料数量→ 1.00	集 塵 機	定格風量○○○m <sup>3</sup> /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する 機械損料数量→ 1.00	
	バックホウ	トンネル工用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	機-13	インバート掘削工	バックホウ	トンネル工用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	機-13	インバート掘削工	
	"	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	機-1	インバート埋戻し材積込作業	"	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	機-1	インバート埋戻し材積込作業	
	ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15 t 級 (13～16 t)	機-13	インバート埋戻工	ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15 t 級 (13～16 t)	機-13	インバート埋戻工	
	タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8～20 t	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60	タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8～20 t	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60	
	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 種	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 種	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上	
	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110m <sup>3</sup> /h	機-13	インバート用	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110m <sup>3</sup> /h	機-13	インバート用	

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																																																												
P819	<p>⑦ アジテータカ 掘削1サイクル当りのアジテータカの延運時間、次式による。</p> <p style="text-align: center;"><b>表4.36 アジテータカ</b></p> <p>規格：運搬容量 6 m<sup>3</sup></p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="271 411 1032 715"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.037</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.096</td> <td>0.102</td> <td>0.109</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.096</td> <td>0.102</td> <td>0.109</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧ 吹付プラント設備 掘削1サイクル当りの吹付プラント設備延運時間は、次式とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表4.37 吹付プラント設備</b></p> <p>規格：定置式 25m<sup>3</sup>/h</p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="271 890 1032 1193"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.050</td> <td>0.054</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.096</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.096</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要	20	25	30	全断面工法	B	0.030	0.033	0.037		C I	0.048	0.050	0.054	C II	0.048	0.052	0.054	D I	0.096	0.102	0.109	D II	0.096	0.102	0.109	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要	20	25	30	全断面工法	B	0.028	0.030	0.033		C I	0.046	0.048	0.052	C II	0.050	0.054	0.054	D I	0.096	0.087	0.091	D II	0.096	0.087	0.091	<p>⑦ アジテータカ 掘削1サイクル当りのアジテータカの延運時間は、<b>次表</b>による。</p> <p style="text-align: center;"><b>表4.36 アジテータカ</b></p> <p>規格：運搬容量 6 m<sup>3</sup></p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="1167 411 1928 715"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.037</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.096</td> <td>0.102</td> <td>0.109</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.096</td> <td>0.102</td> <td>0.109</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧ 吹付プラント設備 掘削1サイクル当りの吹付プラント設備延運時間は、<b>次表</b>とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表4.37 吹付プラント設備</b></p> <p>規格：定置式 25m<sup>3</sup>/h</p> <p style="text-align: right;">週/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" data-bbox="1167 890 1928 1193"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="3">設計掘削断面積(m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.050</td> <td>0.054</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.096</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.096</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要	20	25	30	全断面工法	B	0.030	0.033	0.037		C I	0.048	0.050	0.054	C II	0.048	0.052	0.054	D I	0.096	0.102	0.109	D II	0.096	0.102	0.109	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要	20	25	30	全断面工法	B	0.028	0.030	0.033		C I	0.046	0.048	0.052	C II	0.050	0.054	0.054	D I	0.096	0.087	0.091	D II	0.096	0.087	0.091	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )				摘要																																																																																																																							
		20	25	30																																																																																																																											
全断面工法	B	0.030	0.033	0.037																																																																																																																											
	C I	0.048	0.050	0.054																																																																																																																											
	C II	0.048	0.052	0.054																																																																																																																											
	D I	0.096	0.102	0.109																																																																																																																											
	D II	0.096	0.102	0.109																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要																																																																																																																										
		20	25	30																																																																																																																											
全断面工法	B	0.028	0.030	0.033																																																																																																																											
	C I	0.046	0.048	0.052																																																																																																																											
	C II	0.050	0.054	0.054																																																																																																																											
	D I	0.096	0.087	0.091																																																																																																																											
	D II	0.096	0.087	0.091																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要																																																																																																																										
		20	25	30																																																																																																																											
全断面工法	B	0.030	0.033	0.037																																																																																																																											
	C I	0.048	0.050	0.054																																																																																																																											
	C II	0.048	0.052	0.054																																																																																																																											
	D I	0.096	0.102	0.109																																																																																																																											
	D II	0.096	0.102	0.109																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m <sup>2</sup> )			摘要																																																																																																																										
		20	25	30																																																																																																																											
全断面工法	B	0.028	0.030	0.033																																																																																																																											
	C I	0.046	0.048	0.052																																																																																																																											
	C II	0.050	0.054	0.054																																																																																																																											
	D I	0.096	0.087	0.091																																																																																																																											
	D II	0.096	0.087	0.091																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																				
P837	<p>3-4 泥土運搬 泥土(脱水ケーキ)運搬の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表 3.3 泥土運搬歩掛</b> (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>運 搬 機 種・規 格</td> <td colspan="5">ダンプトラック 4 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">D I D区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>6.0以下</td> <td>13以下</td> <td>19以下</td> <td>35以下</td> <td>60以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 日 数 (日)</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">D I D区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>5.5以下</td> <td>12以下</td> <td>17以下</td> <td>27以下</td> <td>60以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 日 数 (日)</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回実施を標準とする。 2. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 (運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。)</p> <p>3. 本歩掛は、泥土の残土受け入れ地等までの運搬のみであり、残土受け入れ地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。</p>	運 搬 機 種・規 格	ダンプトラック 4 t積					D I D区間：無し						運 搬 距 離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下	運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	D I D区間：有り						運 搬 距 離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下	運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	<p>3-4 泥土運搬 泥土(脱水ケーキ)運搬の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表 3.3 泥土運搬歩掛</b> (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>運 搬 機 種・規 格</td> <td colspan="5">ダンプトラック 4 t積</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">D I D区間：無し</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>6.0以下</td> <td>13以下</td> <td>19以下</td> <td>35以下</td> <td>60以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 日 数 (日)</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">D I D区間：有り</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>5.5以下</td> <td>12以下</td> <td>17以下</td> <td>27以下</td> <td>60以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 日 数 (日)</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回<b>実施を標準</b>とする。 2. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 (運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。)</p> <p>3. 本歩掛は、泥土の残土受け入れ地等までの運搬のみであり、残土受け入れ地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。</p>	運 搬 機 種・規 格	ダンプトラック 4 t積					D I D区間：無し						運 搬 距 離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下	運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	D I D区間：有り						運 搬 距 離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下	運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	<p>文字削除</p>
運 搬 機 種・規 格	ダンプトラック 4 t積																																																																																						
D I D区間：無し																																																																																							
運 搬 距 離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下																																																																																		
運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																		
D I D区間：有り																																																																																							
運 搬 距 離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下																																																																																		
運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																		
運 搬 機 種・規 格	ダンプトラック 4 t積																																																																																						
D I D区間：無し																																																																																							
運 搬 距 離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下																																																																																		
運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																		
D I D区間：有り																																																																																							
運 搬 距 離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下																																																																																		
運 搬 日 数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																		
P839	<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD     A[床掘] --&gt; B[杭頭処理]     B --&gt; C[基礎材敷設転圧]     C --&gt; D[均しコンクリート型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生]     D --&gt; E[足場・支保設置]     E --&gt; F[鉄筋加工・組立]     F --&gt; G[型枠製作・設置]          H[コンクリート打設・養生] --&gt; I[型枠撤去]     I --&gt; J[足場・支保撤去]     J --&gt; K[埋戻し]     K --&gt; L[資機材搬出]          G --- H     </pre>	<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD     A[床掘] --&gt; B[杭頭処理]     B --&gt; C[基礎材敷設転圧]     C --&gt; D[均しコンクリート型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生]     D --&gt; E[足場・支保設置]     E --&gt; F[鉄筋加工・組立]     F --&gt; G[型枠製作・設置]          H[コンクリート打設・養生] --&gt; I[型枠撤去]     I --&gt; J[足場・支保撤去]     J --&gt; K[埋戻し]     K --&gt; L[資機材搬出]          G --- H     </pre>																																																																																					

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																																																																
P864	<p>1-15 グレーチング床版架設工及び足場工 1-15-1 適用範囲 本資料は、鋼橋床版工のうち、グレーチング床版（ソリッドタイプ）による橋梁床版架設工で、床版標準ブロック質量2,000kg以下の架設に適用する。</p> <p>(1) 床版架設歩掛の適用範囲 歩掛には、床版架設、継手筋挿入、引出し、結束、床版継手設置、地覆型枠外側プレート及び支持板取付けを含み、地覆鉄筋、各部補強鉄筋等現場筋の配筋、排水桝（管）、伸縮継手、高欄等の設置は、別途計上する。</p> <p>(中略)</p> <p style="text-align: center;">表1.31 床版100㎡当り架設日数 (日/100㎡)</p> <table border="1" data-bbox="219 555 1084 705"> <thead> <tr> <th>床版架設面積 (㎡)</th> <th>100㎡当り架設日数 (日/100㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000㎡未満</td> <td><math>y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K</math></td> </tr> <tr> <td>1,000㎡以上</td> <td><math>y = 1.4 \cdot K</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) y : 床版100㎡当り架設日数 (日/100㎡) yは小数第2位を四捨五入し、小数第1位止とする。 A : 床版架設面積 (㎡) A=地覆外縁間距離×橋長とする。 K : 床版標準ブロック質量による係数 (表1.33)</p>	床版架設面積 (㎡)	100㎡当り架設日数 (日/100㎡)	1,000㎡未満	$y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$	1,000㎡以上	$y = 1.4 \cdot K$	<p>1-15 グレーチング床版架設工及び足場工 1-15-1 適用範囲 本資料は、鋼橋床版工のうち、グレーチング床版（ソリッドタイプ）による橋梁床版架設工で、床版標準ブロック質量2,000kg以下の架設に適用する。</p> <p><b>1-15-2 施工歩掛</b></p> <p>(1) 床版架設歩掛の適用範囲 歩掛には、床版架設、継手筋挿入、引出し、結束、床版継手設置、地覆型枠外側プレート及び支持板取付けを含み、地覆鉄筋、各部補強鉄筋等現場筋の配筋、排水桝（管）、伸縮継手、高欄等の設置は、別途計上する。</p> <p>(中略)</p> <p style="text-align: center;">表1.31 床版100㎡当り架設日数 (日/100㎡)</p> <table border="1" data-bbox="1115 555 1980 705"> <thead> <tr> <th>床版架設面積 (㎡)</th> <th>100㎡当り架設日数 (日/100㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000㎡未満</td> <td><math>y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K</math></td> </tr> <tr> <td>1,000㎡以上</td> <td><math>y = 1.4 \cdot K</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) y : 床版100㎡当り架設日数 (日/100㎡) yは小数第2位を四捨五入し、小数第1位止とする。 A : 床版架設面積 (㎡) A=地覆外縁間距離×橋長とする。 K : 床版標準ブロック質量による係数 (表1.32)</p>	床版架設面積 (㎡)	100㎡当り架設日数 (日/100㎡)	1,000㎡未満	$y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$	1,000㎡以上	$y = 1.4 \cdot K$																																																																					
床版架設面積 (㎡)	100㎡当り架設日数 (日/100㎡)																																																																																		
1,000㎡未満	$y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$																																																																																		
1,000㎡以上	$y = 1.4 \cdot K$																																																																																		
床版架設面積 (㎡)	100㎡当り架設日数 (日/100㎡)																																																																																		
1,000㎡未満	$y = (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$																																																																																		
1,000㎡以上	$y = 1.4 \cdot K$																																																																																		
P869	<p>(17) 床版架設100㎡当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="219 986 1084 1327"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>y×1</td> <td>表1.30</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td></td> <td>日</td> <td>y</td> <td>表1.29, 表1.31</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) y : 床版100㎡当り架設日数 (表1.32)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	y×1	表1.30	橋 梁 特 殊 工		〃	y×2	〃	溶 接 工		〃	y×1	〃	普 通 作 業 員		〃	y×3	〃	トラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31	諸 雑 費		式	1	表1.33	計					<p>(17) 床版架設100㎡当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1115 986 1980 1327"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>y×1</td> <td>表1.30</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>y×3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td></td> <td>日</td> <td>y</td> <td>表1.29, 表1.31</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) y : 床版100㎡当り架設日数 (表1.31)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	y×1	表1.30	橋 梁 特 殊 工		〃	y×2	〃	溶 接 工		〃	y×1	〃	普 通 作 業 員		〃	y×3	〃	トラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31	諸 雑 費		式	1	表1.33	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋 梁 世 話 役		人	y×1	表1.30																																																																															
橋 梁 特 殊 工		〃	y×2	〃																																																																															
溶 接 工		〃	y×1	〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃	y×3	〃																																																																															
トラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31																																																																															
諸 雑 費		式	1	表1.33																																																																															
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
橋 梁 世 話 役		人	y×1	表1.30																																																																															
橋 梁 特 殊 工		〃	y×2	〃																																																																															
溶 接 工		〃	y×1	〃																																																																															
普 通 作 業 員		〃	y×3	〃																																																																															
トラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31																																																																															
諸 雑 費		式	1	表1.33																																																																															
計																																																																																			

土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																								
P885	<p>3. 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種・規格</p> <table border="1" data-bbox="215 300 1088 687"> <thead> <tr> <th></th> <th>セグメント質量 (t)</th> <th>トラッククレーンの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td> <td>～11.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>11.1～12.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>12.1～15.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>15.1～17.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 30 t 吊</td> </tr> <tr> <td>17.1～19.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>19.1～21.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>21.1～24.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>24.1～33.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型120 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラッククレーン規格は、取卸用の標準であり、上表以外の場合は別途選定できる。 2. トラッククレーンは、賃料とする。 3. トラッククレーンの選定について、トラッククレーンが、トレーラと並列に配置される現場、もしくは、架設桁の背後にトラッククレーン回転部のすぐ側まで寄れる現場を標準としている。作動現場が上記により難い場合は、別途考慮する。 4. セグメント質量が均一でない場合、セグメントの最大質量でトラッククレーンを選定する。</p>		セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊	<p>3. 機種の選定 <b>機械</b>・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 <b>機械</b>・規格</p> <table border="1" data-bbox="1115 300 1989 687"> <thead> <tr> <th></th> <th>セグメント質量 (t)</th> <th>トラッククレーンの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td> <td>～11.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>11.1～12.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>12.1～15.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>15.1～17.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 30 t 吊</td> </tr> <tr> <td>17.1～19.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>19.1～21.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>21.1～24.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>24.1～33.0</td> <td>油圧伸縮ジブ型120 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラッククレーン規格は、取卸用の標準であり、上表以外の場合は別途選定できる。 2. トラッククレーンは、賃料とする。 3. トラッククレーンの選定について、トラッククレーンが、トレーラと並列に配置される現場、もしくは、架設桁の背後にトラッククレーン回転部のすぐ側まで寄れる現場を標準としている。作動現場が上記により難い場合は、別途考慮する。 4. セグメント質量が均一でない場合、セグメントの最大質量でトラッククレーンを選定する。</p>		セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊	
	セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格																																									
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																									
	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊																																									
	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																									
	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊																																									
	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																									
	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																									
	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊																																									
	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊																																									
	セグメント質量 (t)	トラッククレーンの規格																																									
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	～11.0	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																									
	11.1～12.0	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊																																									
	12.1～15.0	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																									
	15.1～17.0	油圧伸縮ジブ型 30 t 吊																																									
	17.1～19.0	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																									
	19.1～21.0	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																									
	21.1～24.0	油圧伸縮ジブ型100 t 吊																																									
	24.1～33.0	油圧伸縮ジブ型120 t 吊																																									



土木工事標準歩掛の訂正

現行基準 のページ	現 行	改 正	摘 要																																				
P927	<p style="text-align: center;">表7.1 作業車据付・解体歩掛 (1台1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 30%;">組 立 ・ 解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">9.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">61.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">51.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">13.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記労務及びラフテレーンクレーン歩掛は、据付及び解体の合計であり構成は据付60%、解体40%である。                  2. 上記歩掛に付属設備等の据付・解体作業は含まれる。                  3. 作業車据付・解体所要日数は、17日を標準とする。                  4. 2台同時据付を標準とする。                  5. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型25 t吊を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。                  6. 諸雑費は、作業車付属設備（屋根材料費、床材料費、防護設備費、足場材料費）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	組 立 ・ 解 体	橋 梁 世 話 役	人	9.1	橋 梁 特 殊 工	〃	61.7	普 通 作 業 員	〃	51.3	ラフテレーンクレーン運転	日	13.2	諸 雑 費 率	%	35	<p style="text-align: center;">表7.1 作業車据付・解体歩掛 (1台1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 30%;">組 立 ・ 解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">9.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">61.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">51.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">13.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記労務及びラフテレーンクレーン歩掛は、据付及び解体の合計であり構成は据付60%、解体40%である。                  2. 上記歩掛に付属設備等の据付・解体作業は含まれる。                  3. 作業車据付・解体所要日数は、17日を標準とする。                  4. 2台同時据付を標準とする。                  5. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型<b>45 t吊</b>を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。                  6. 諸雑費は、作業車付属設備（屋根材料費、床材料費、防護設備費、足場材料費）等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	組 立 ・ 解 体	橋 梁 世 話 役	人	9.1	橋 梁 特 殊 工	〃	61.7	普 通 作 業 員	〃	51.3	ラフテレーンクレーン運転	日	13.2	諸 雑 費 率	%	35	
名 称	単 位	組 立 ・ 解 体																																					
橋 梁 世 話 役	人	9.1																																					
橋 梁 特 殊 工	〃	61.7																																					
普 通 作 業 員	〃	51.3																																					
ラフテレーンクレーン運転	日	13.2																																					
諸 雑 費 率	%	35																																					
名 称	単 位	組 立 ・ 解 体																																					
橋 梁 世 話 役	人	9.1																																					
橋 梁 特 殊 工	〃	61.7																																					
普 通 作 業 員	〃	51.3																																					
ラフテレーンクレーン運転	日	13.2																																					
諸 雑 費 率	%	35																																					
P960	<p>(11) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適用単価表</th> <th style="width: 50%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック [クレーン装置付]</td> <td>4 t積2.9 t吊</td> <td>機-28</td> <td>                     運転労務数量→1.00                      燃料消費量→42                      機械損料数量→1.00                 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	適用単価表	指定事項	トラック [クレーン装置付]	4 t積2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.00	<p>(11) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適用単価表</th> <th style="width: 50%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック [クレーン装置付]</td> <td>4 t積2.9 t吊</td> <td>機-28</td> <td>                     運転労務数量→1.00                      燃料消費量→42                      賃料数量→1.00                 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	適用単価表	指定事項	トラック [クレーン装置付]	4 t積2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.00																					
名 称	規 格	適用単価表	指定事項																																				
トラック [クレーン装置付]	4 t積2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→1.00																																				
名 称	規 格	適用単価表	指定事項																																				
トラック [クレーン装置付]	4 t積2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.00																																				